

2012年4月25日

大阪経済記者クラブ 各位
(同時配布先)
近畿経済産業局記者会

近畿経済産業局
公益社団法人 関西経済連合会

「創造拠点KANSAIの形成」 関西のコンテンツ産業活性化戦略の策定について

近畿経済産業局と公益社団法人関西経済連合会は、昨年6月より検討を重ねていた「関西のクリエイティブ産業を考える会（座長＝鷲田清一大谷大学教授）」において、「創造拠点KANSAIの形成（関西のコンテンツ産業活性化戦略）」を策定しました。

具体的には、関西のコンテンツ産業のポテンシャルや課題の分析から、産業用コンテンツの活用による新需要創出などの「4つの基本戦略」を導き、活動を展開するための連携協働体の体制作りや産業用コンテンツ等のプロモーションを始めとする「13の活動」を提案しています。

なお、コンテンツの積極的活用を実践する意も含め、本報告書の表紙デザインを公募し、AR^(※)コンテンツとして作成しています。

(※) AR：拡張現実 (Augmented Reality) とも言い、現実映像の中にコンピュータの映像を重ね合わせ表現する技術。

1. 関西のクリエイティブ産業を考える会について

審議経過：

- ・ 第一回委員会 平成23年6月 9日
- ・ 第二回委員会 平成23年10月6日
- ・ 第三回委員会 平成24年1月30日
- ・ 第四回委員会 平成24年4月20日（最終）

2. 報告書（活性化戦略）概要

第一章現状と課題

本活性化戦略の対象を、コンシューマー向けの従来型コンテンツに加え、製品を説明・印象付けたり魅力を高めたりするための「産業用コンテンツ」も含め検討することとし、関西のコンテンツ産業について以下のポテンシャルと課題を指摘しています。

■ポテンシャル

- ① 関西のコンテンツ産業は国内第二の規模
- ② 関西は国内第二のクリエイター輩出拠点
- ③ オリジナルコンテンツを生み出す歴史・文化・自然の存在
- ④ 進取の気風
- ⑤ アジアとのゲートウェイ
- ⑥ 管内自治体は各地の強みを活かしたコンテンツ施策を実施

■課題

- ① 関西のコンテンツ需要は必ずしも大きくなく、また落ち込み傾向
- ② 関西で輩出された若手クリエイターの就職口が不足
- ③ プロジェクトマネージャーやコーディネーターが不在
- ④ 事業者・自治体間の連携が少なく、取組も一体感に欠ける

第二章 活性化戦略～創造拠点KANSAIの形成～

関西人の特性や地理的特性から生み出されるオリジナリティを尊重した「新たなほんまもん」による、世界への「創造拠点KANSAI」の形成を提案し、その実現のための以下の「4つの基本戦略」を提言しています。



その基本戦略に基づく具体的活動提案として次の13事業を提案しています。

- I 関西の次世代クリエイティブ産業創出の連携協働体の形成
- II-1 「関西のコンテンツ産業活性化戦略」のプロモーション
- II-2 コンテンツビジネス支援コンテンツの整備
- II-3 コンテンツの効果的展示機会の提供
- II-4 コンテンツ企業の海外展開に対する取組支援
- II-5 クール・ジャパン戦略への積極的な参加
- II-6 クリエイターとクライアントの継続的なマッチング機会の創出
- II-7 クリエイティブ関連イベントの一元的な情報発信
- III-1 新たなメディアやビジネスモデルへの挑戦
- III-2 クリエイティブ人材「発掘・発信の場」の創出
- III-3 プロデュース能力・コーディネート能力の向上
- III-4 日本の「匠」の販路開拓支援コンテンツの制作
- III-5 関西発オリジナルコンテンツ創出のためのプラットフォーム形成

3. 本報告書の表紙デザインについて

コンテンツの積極的活用を実践する意も含め、本報告書の表紙デザインを公募し、ARコンテンツとして作成しています。

(本発表資料のお問い合わせ先)
近畿経済産業局 クリエイティブ産業担当(コンテンツ産業支援室)
担当:石原、芝野、神岡、三小田(電話:06-6966-6053)
公益社団法人 関西経済連合会
担当:湯室(企画広報部)
電話:06-6441-0105(企画広報部)